

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の避難方法の想定が職員間で確立されていない。地域との連携も視野に入れた危機管理体制が必要である。	夜間想定を中心とした避難訓練の実施と職員教育		2ヶ月
2	8	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を設けておらず、利用者からの問い合わせに対応できる資料なども不足である。	両制度についての研修会の実施と、活用のシステム作り	施設スタッフに向けた研修会開催により、スタッフの知識向上を図り、入居者や家族の相談に応じられるよう、資料等を整備する。	4ヶ月
3	6	自分の意思で開けられない玄関などの施錠は、身体拘束となるが、当施設においての玄関(への扉)は、安全面考慮という観点から、常時施錠を行っている。	玄関(への扉)の日中施錠開放	開放時間を取り決め、日中の施錠開放を実施していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。